

# 視覚障害者と、 支える人の今を知る。

kyoto  
こころつながる  
プロジェクト

みなさんは、“視覚障害”についてどのくらいの事を知っていますか？  
南区内で視覚障害者の生活を支える活動をしている“朗読ボランティアひばり”のメンバーと、  
京都府視覚障害者協会 中島さんに、お話を聞きました！

## 私たち、約30年ボランティア活動をしています！

視覚に障害のある方は、生活に必要な情報収集のために、読み上げソフトや録音再生機を用いています。  
朗読ボランティアは、墨字(活字)で書かれている書籍や雑誌、広報誌、新聞などの内容を『音声にして伝える』活動をして、障害のある方を支えています。

INTERVIEW #01

朗読ボランティア  
ひばり

- 活動：毎月1回(第3水曜日)
- 内容：各々が選んだ記事を持ち寄り、カセットテープへ録音。編集した後、ご希望の方に郵送されています。



もりおか  
森岡さん

30年ほど前、社協役員だった主人がこの団体を立ち上げ、私も参加するようになりました。いろんな方のサポートもあって活動を続けてきましたが、少しずつメンバーが少なくなってきました。この活動に興味を持ち、私たちと一緒に取り組む仲間との新たな出会いを、楽しみにしています。



はせがわ  
長谷川さん

感情を入れないのが一般的な朗読ボランティアですが、私たちは気持ちを込めて読み、聞き手がイメージしやすいように伝えていきます。『亡くなる直前まで親がひばりのテープを聞いていました。ありがとうございました。』と娘さんより手紙が届いた時は嬉しかったです。これからもこの活動を続けたいと思います。



おだに  
小谷さん

小さい記事でも、自分が感動した記事や人生が楽しいと思える記事を選ぶようにしています。人の役に立つ活動が、私自身の生きがいになっています。テープで聞く方は少なくなってきましたが、できるだけ多くの方に聞いてもらえたら嬉しいです。

南区社協YouTubeチャンネルでは、“朗読ボランティアひばり”の録音活動の様子を紹介しています。是非ご視聴ください。



■またはインターネットで検索！  
京都市南区社協チャンネル



WE NEED  
STAFF!!

朗読ボランティアひばりは、障害のある方たちに寄り添い、運営を担ってくださる **ボランティアを募集** しています！  
関心のある方は、南区社会福祉協議会までお問合せください。



ウラ面へ